

## 大会長挨拶

日本放射線影響学会第45回大会を仙台で開催させて頂くことになりました。仙台での大会は昭和39年（古賀良彦先生）、昭和52年（粟冠正利先生）、平成2年（坂本澄彦先生）に続いて4回目となります。今度の会場は新しく開発された仙台駅東側地区にあるメルパルク仙台です。皆さまの御参加をお願い申し上げます。

今大会では発表はすべて口頭発表とし、別に大会実行委員会、学会の企画委員会、若手などの提案を受け特別講演、シンポジウム、ワークショップを行い、また、会員の方に組織して頂いたサテライトシンポジウムも加えました。特別講演には丹羽学会長のご尽力により隣国からも参加して頂けることになりました。今後の発展を考える上でも大切な一歩となることを期待しております。またJRR編集長の安藤先生からご提案を受け「ノーベル賞と放射線影響研究」についての雑談会も計画されています。時には鳥瞰図のような視点も面白いかと思えます。演題申込み方法は前回の野村大会長の時に導入されましたインターネット方式をそのまま使わせて頂きました。ただ機械が作動しなかったらという不安を払拭しきれず、紙による申込みもお願いし、皆さまにはご不便をおかけしてしまいました。

学会終了後の9月21日（土）には、女川原子力発電所見学を入れてみました。東北放射線科学センターの御協力によるものです。足をのばされてみてはどうでしょう。

また今回は一般演題の中から興味深い研究を選び大会賞を差し上げる計画です。選考に当たりましては座長および学会役員の先生方の御協力を頂くこととなりますが、宜しくお願い致します。研究が「評価」とは根本的に相容れぬものであることは論を待ちませんが、他方、少なくとも表面的には「世間」と無関係という訳にもゆかないかと思えます。あくまでも試行という位置づけです。

参加される皆様の御協力と活発な議論により充実した大会にして頂けますようお願い致します。

なお、本大会は学会長始め多くの学会役員の方々と大会実行委員会委員の御協力、並びに大会に賛同し寄付を頂きました各位によって支えられています。厚く御礼申し上げます。

2002年7月

日本放射線影響学会第45回大会  
大会長 小野 哲也